

(記入例)
特 定 施 設 設 置 届 出 書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

(宛先)長野市上下水道事業管理者

申請者	住 所	東京都〇〇区〇〇1丁目23番地
	電 話 番 号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	氏名又は名称 及び法人に あつてはその 代表者の氏名	株式会社 〇〇〇クリーン 代表取締役 〇〇 一郎

下水道法第12条の3第1項(下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項)の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇クリーニング 長野店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	長野市〇〇2丁目3番地	※受理年月日	
特定施設の種類	67 洗濯業の用に供する洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。	※備 考	
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

- 備考
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①	②
特定施設番号及び名称	67 洗浄施設	67 洗浄施設
型 式	〇〇製作所(株) 全自動洗たく機 WT-123	〇〇製作所(株) 石油系ドライ機 DO-456
構 造	別図(5)のとおり	別図(5)のとおり
主 要 寸 法	別図(5)のとおり	別図(5)のとおり
能 力	最大水量 150L/日 洗たく容量 30kg	溶剤タンク容量 130L 洗たく容量 30kg
配 置	別図(2)のとおり	別図(2)のとおり
設 置 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
その他参考となるべき事項	水洗機	ドライ機 石油系溶剤のため、 有害物質使用はありません

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙１の２

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 １ 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- ２ 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		①		②	
特定施設号番号及び名称		67 洗浄施設		67 洗浄施設	
設置場所		別図(2)のとおり		別図(2)のとおり	
操業の系統		別図(6)のとおり		別図(6)のとおり	
使用時間間隔		10時から 15時まで 連続		10時から 15時まで 連続	
1日当たりの使用時間		5 時間/日		5 時間/日	
使用の季節的変動		12月～3月 冬期繁忙期		なし	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		粉せっけん 2.5Kg メタ珪酸ソーダ 2kg コンスターチ剤 1kg		活性炭カートリッジフィルタ(溶剤循環使用) ソープ 100CC 〇〇〇溶剤 10L	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	pH	7.0	8.0		
	BOD [mg/L]	120	150		
	テトラクロロエチレン [mg/L]			100	200
汚水等の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		2.0	3.0	0	0
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	阻集器ランドリートラップ 1				活性炭カートリッジフィルター 2				
処理施設の設置場所	別図(4)のとおり				別図(4)のとおり				
設 置 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日				〇〇年 〇〇月 〇〇日				
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日				〇〇年 〇〇月 〇〇日				
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日				〇〇年 〇〇月 〇〇日				
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日				〇〇年 〇〇月 〇〇日				
種 類 及 び 型 式	□□□社製〇〇トラップスクリーン除去方式				□□製 〇〇フィルターカートリッジ方式×2				
構 造	別図(8)のとおり				別図(8)のとおり				
主 要 寸 法	別図(8)のとおり				別図(8)のとおり				
能 力	スクリーン 1cm×1cmメッシュ				カートリッジ 470L×2本				
処 理 の 方 法	スクリーン除去				活性炭吸着処理				
処 理 の 系 統	別図(7)のとおり				別図(7)のとおり				
集水及び導水の方法	溝および集水管				溝および集水管				
使 用 時 間 間 隔	10時から15時まで 連続				10時から15時まで 連続				
1日当たりの使用時間	5 時間/日				5 時間/日				
使用の季節変動	12月～3月 冬期繁忙期				12月～3月 冬期繁忙期				
消耗資材の 1日当たりの 用途別使用量	なし				カートリッジフィルターの交換頻度 1本/6ヶ月				
汚 水 等 の 汚 染 状 態 及 び 量	種 類 ・ 項 目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	7.0	7.0	8.0	8.0				
	BOD [mg/L]	120	120	150	150				
	テトラクロロエチレン [mg/L]					100	<0.002	200	<0.002
	量 (m ³ /日)	2.0		3.0		0		0	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		繊維くず等可燃物処理				溶剤廃液5L、カートリッジフィルターは業者回収			
排出水の排出方法		下水道 No.1				排水なし			
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項						溶剤廃液、カートリッジフィルター 回収業者「〇〇〇(有)」026-〇〇〇-〇〇〇〇			

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

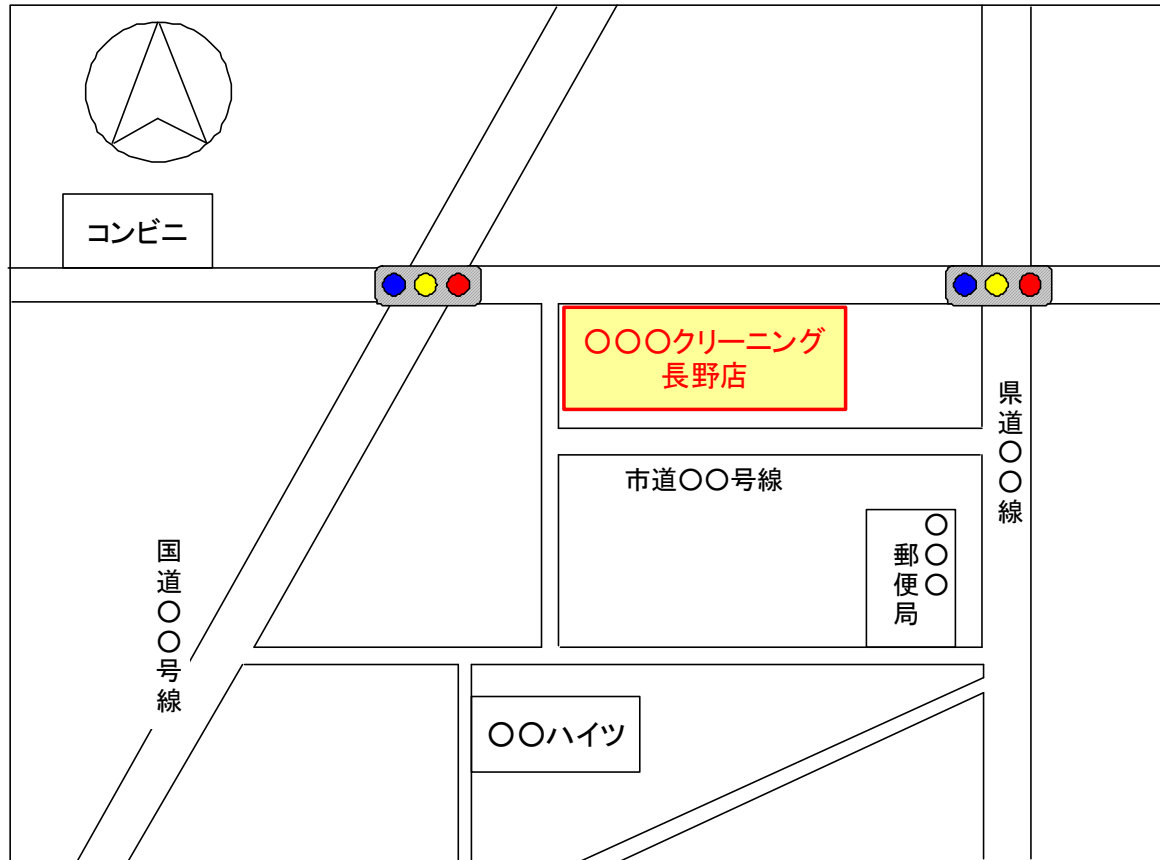
工場又は事業場における施設番号		下水道No.1			
排水水の汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	pH	7.2	8.0		
	BOD [mg/L]	120	150		
	テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002		
排水水の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		3.0	5.0		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	ア 事業場全体の配置 イ 給水系路 ウ 排出水の排出経路 （特定排水、間接冷却水を色分してください。） エ 雨水専用排水路 オ 処理施設の設置場所 カ 特定施設の設置場所 ア〜カまでを記した図面を添付してください。		
用 途 別 用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量（ m^3 ／日）
	洗浄施設	上水道	2.0
	トイレ、流し	上水道	0.2
	ボイラー用水	上水道	0.8

図ー1 付近の見取り図（記入例）



図ー2 建物の配置図（記入例）

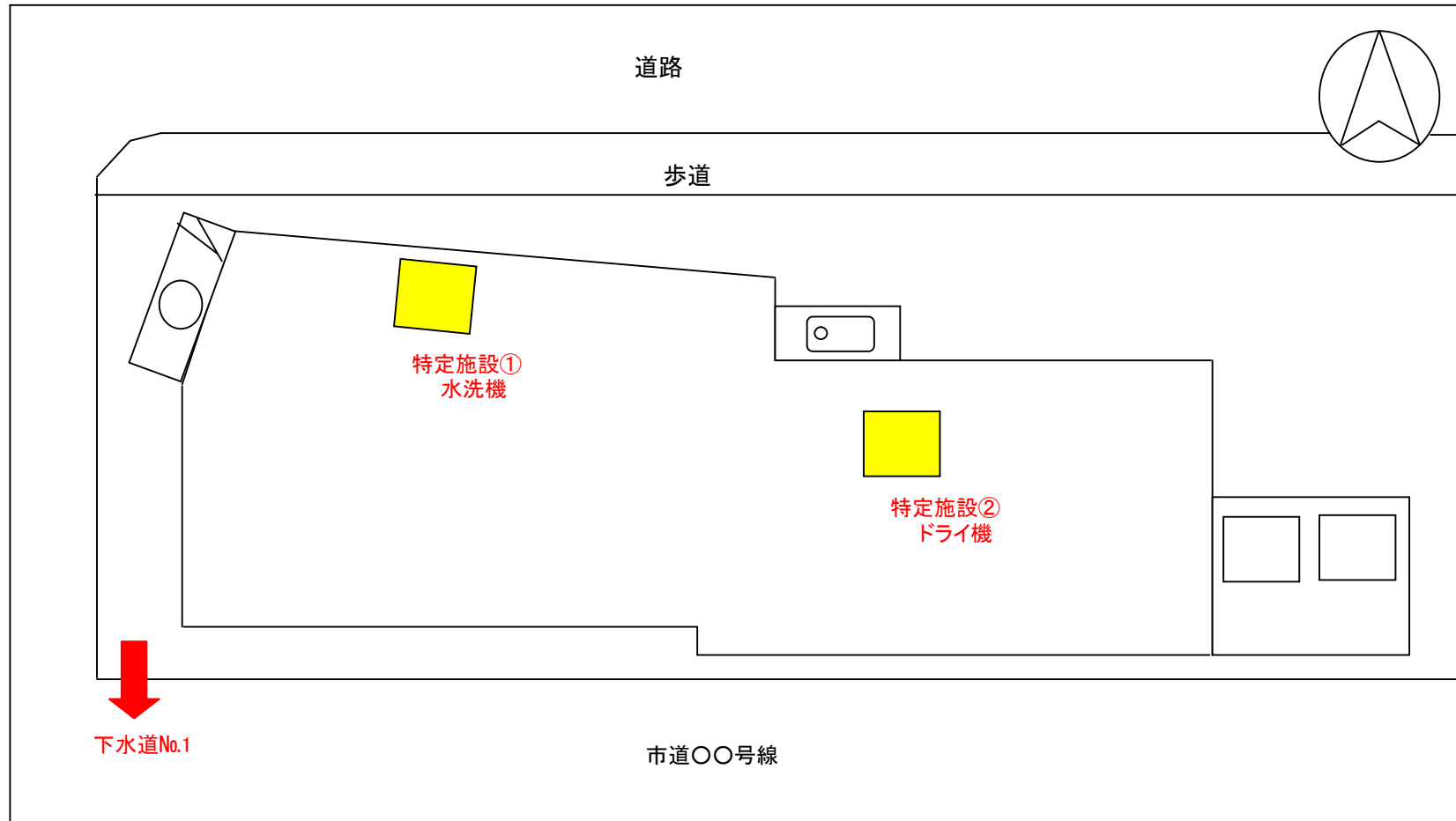


図-3 給水管図（記入例）

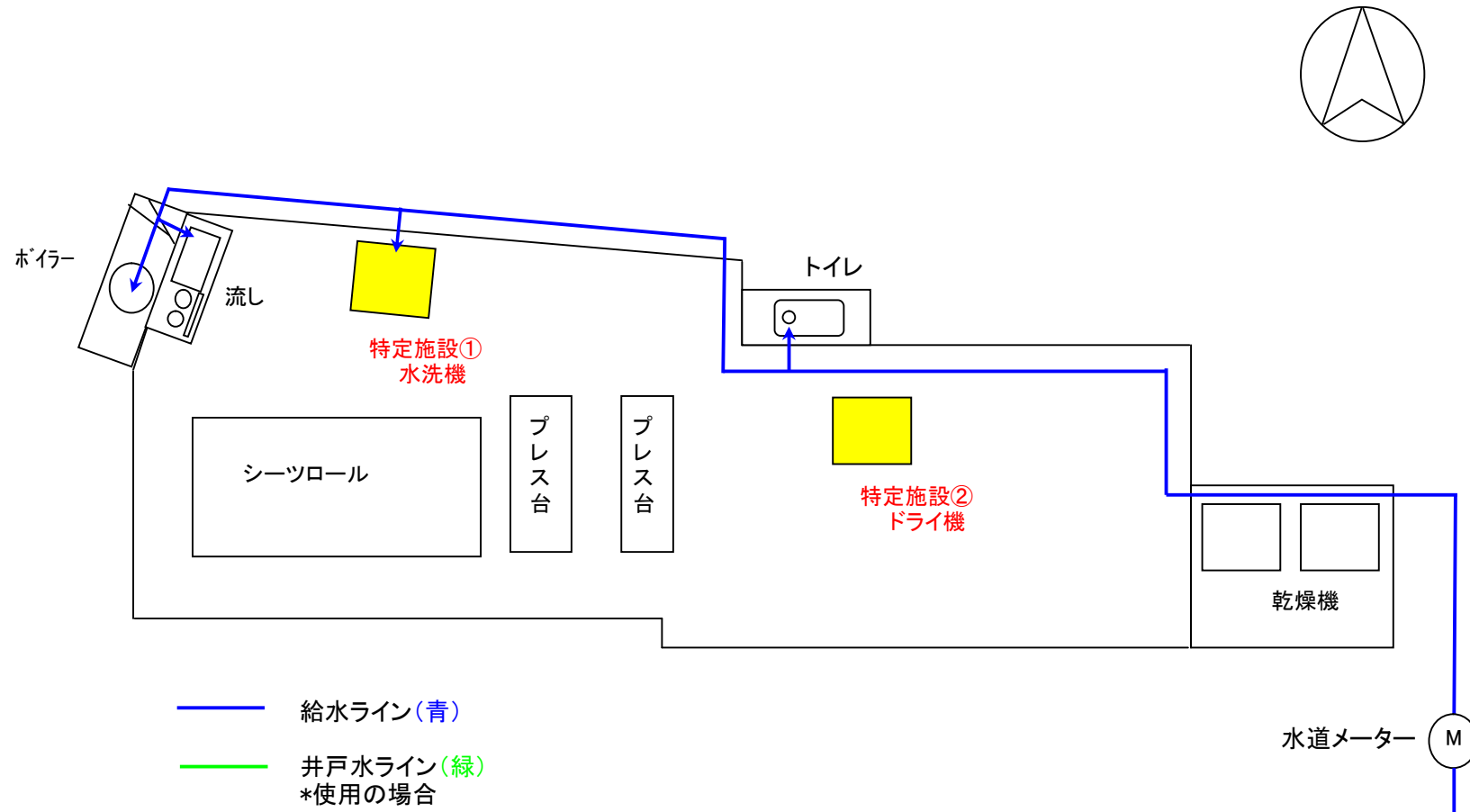
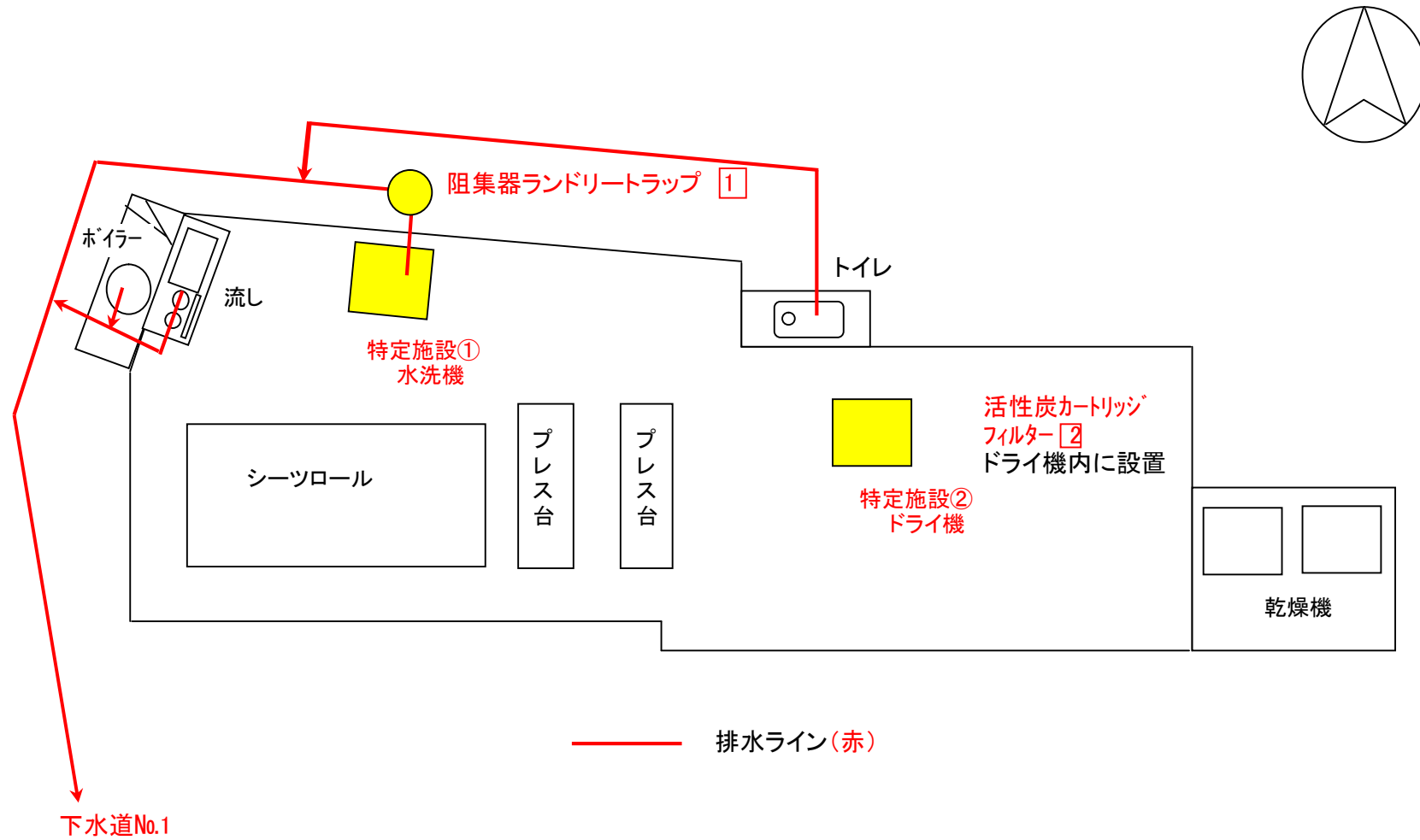


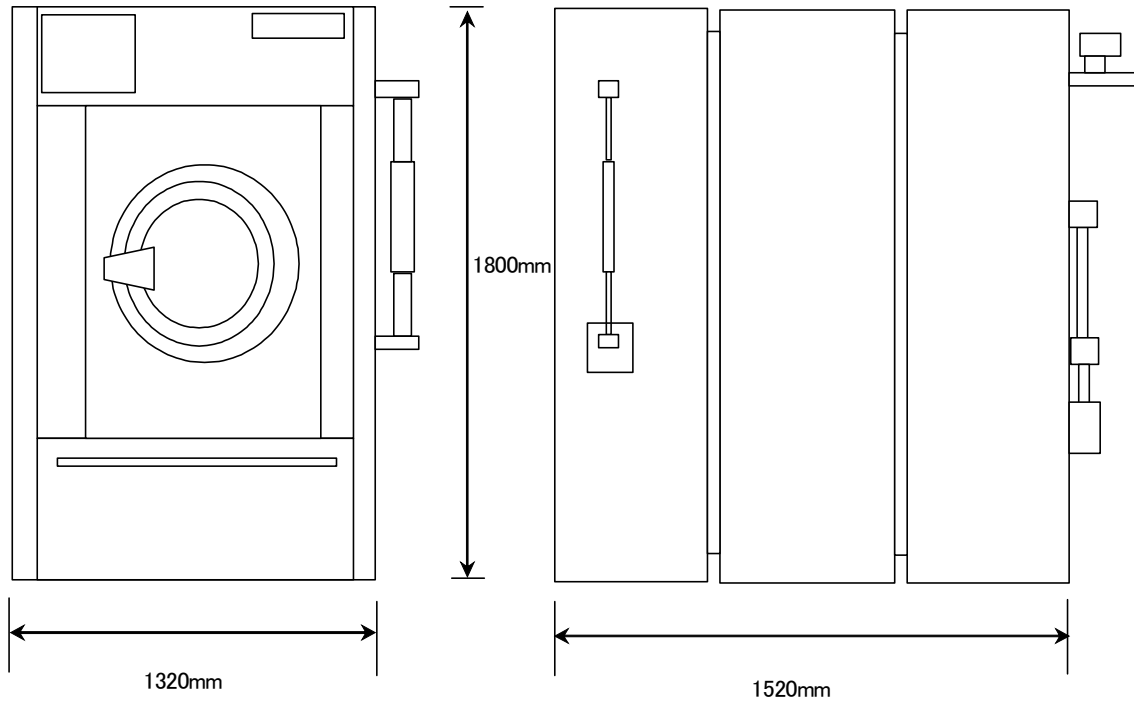
図-4 排水管図 (記入例)



図ー5 特定施設の構造図（記入例）

特定施設①

〇〇製作所(株)
全自動洗たく機
水洗機 WT-123



特定施設②

〇〇製作所(株)
石油系ドライ機
ドライ機 DO-456

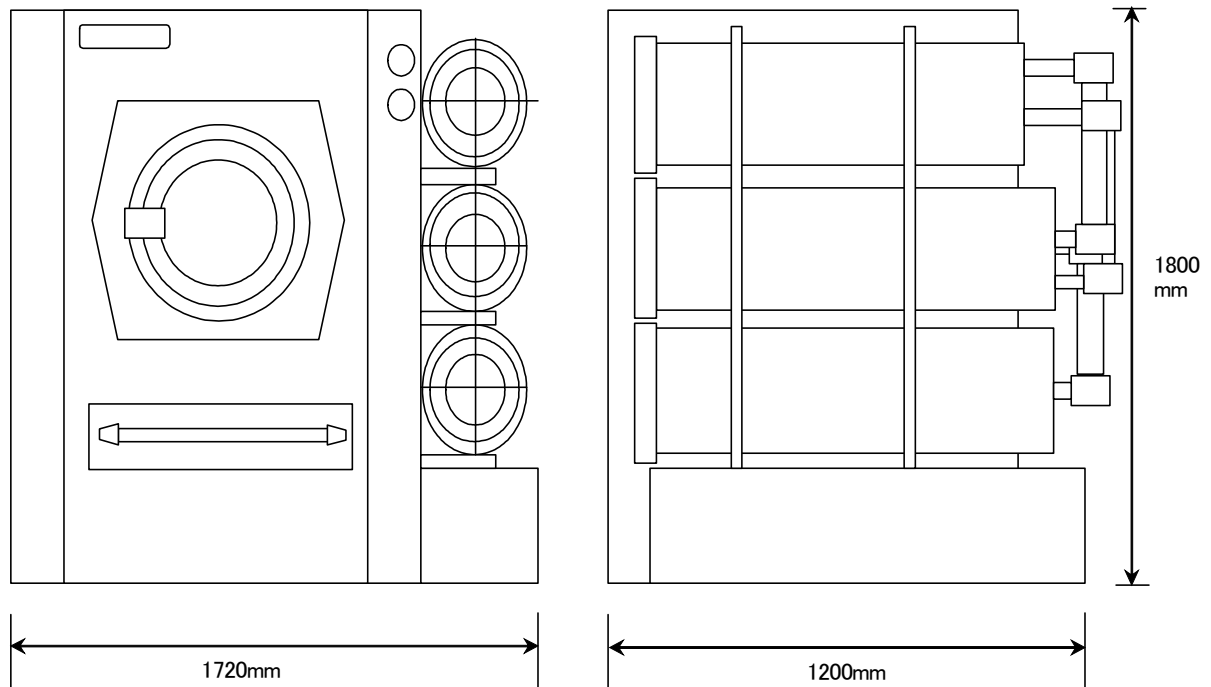


図-6 操業系統図（記入例）

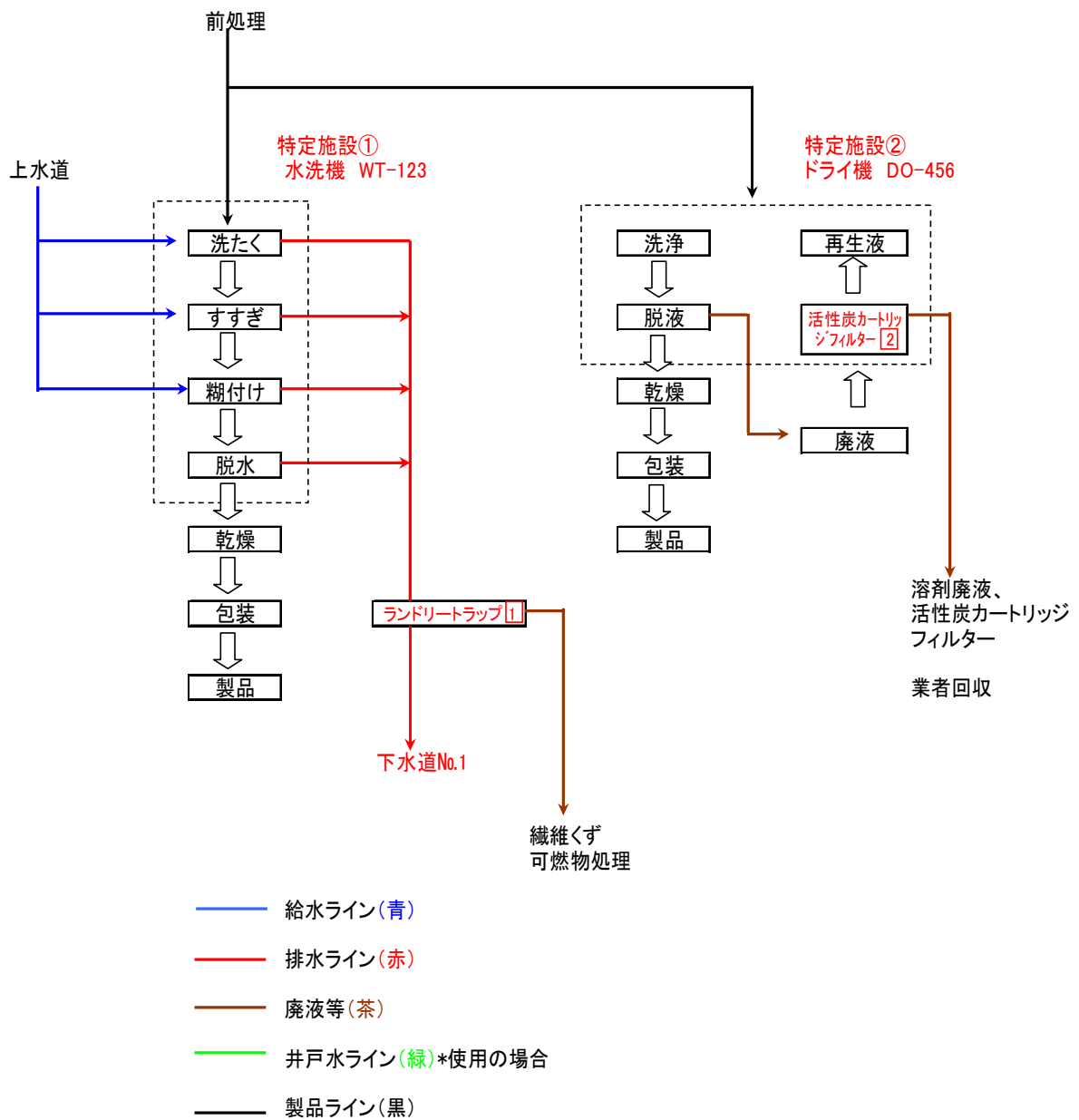


図-7 汚水処理の系統図（記入例）

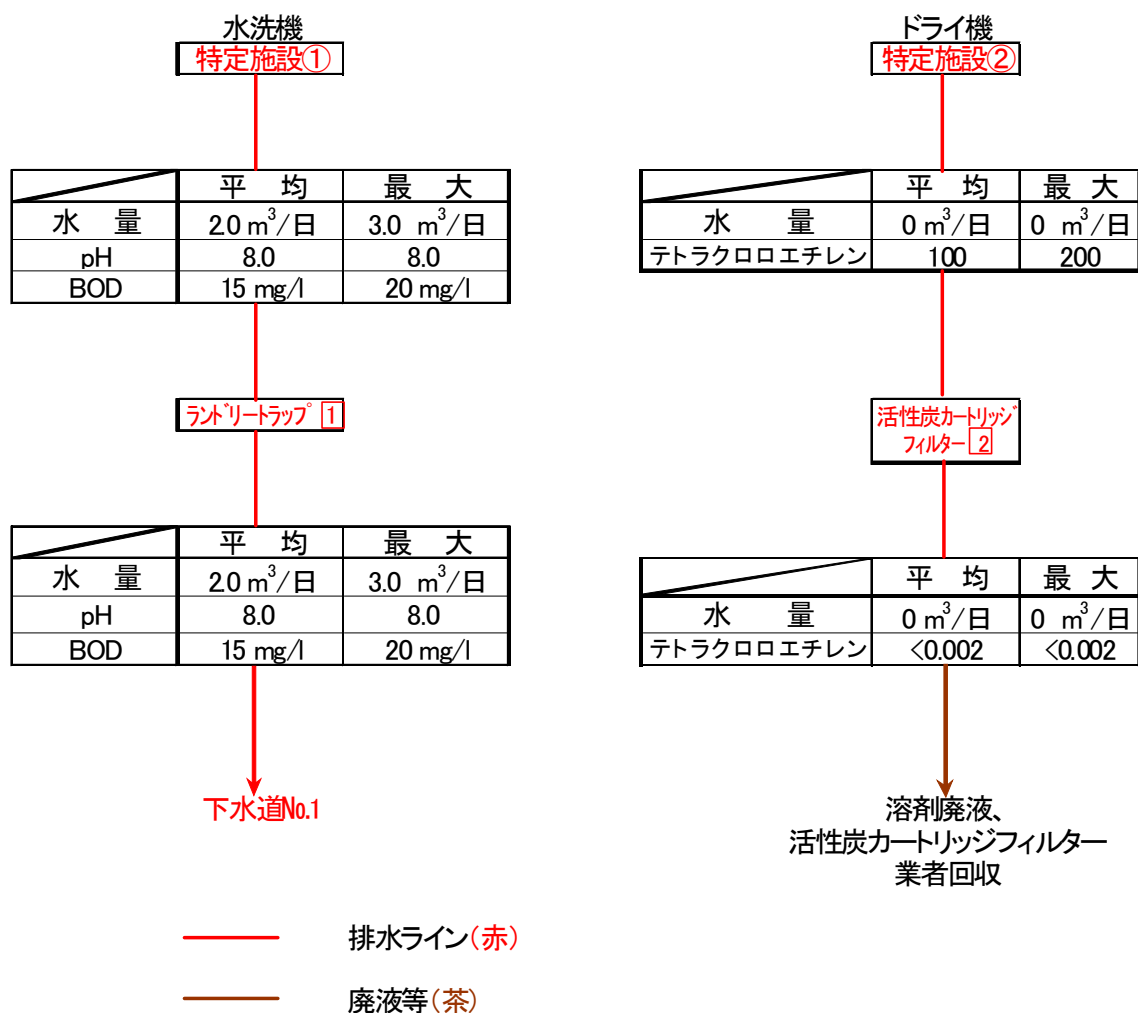


図-8 汚水処理施設の構造図（記入例）

